

保健医療学部 リハビリテーション学科 作業療法学専攻ポリシー

1. 建学の精神

専門知識（学問）、技術（実習）、そして人間尊重（心）を兼備し、社会に貢献する人材の育成

2. 大学の目的

リハビリテーション医学・医療・福祉・保健を研究開発するとともに、高度な専門知識・理論及び応用を教授し、その成果を人間尊重の観点から広く応用できる 21 世紀にふさわしい人材の育成を目的としている。

3. 具体的な人材育成方針

対象者の理想を医学的・社会的見地に立って実現するために、傾聴と高いコミュニケーション能力をもってそれを理解し（傾聴とコミュニケーション）、自身が会得した最新の専門知識と技術に自信と誇りを持ち（自負）、対象者のためにそれを全力で活用するために、探求と創造の姿勢を持ち（創造）、対象者のために自身は何ができるのかを真摯に考える共感と献身の態度（献身・共感）を備えた人材を育成する。

4. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマポリシー）

本専攻が目指すところは、本学の人材育成方針に則り社会に求められる臨床家、作業療法士を育成するところにあり、その具体的な要件を示す。

- (1) 作業療法士国家試験に合格できる知識と思考力を習得している（専門知識・技術）
- (2) 作業療法実践の現場に必要な知識を身につけている（専門知識・技術）
- (3) 対象者のために作業療法士として自身は何が出来るのかを真摯に考える態度が備わっている（献身・共感）
- (4) 作業療法士として自ら学ぶ姿勢と学ぶ意義を対象者の中に見出すことが出来る（自負・創造）
- (5) 作業療法の対象者や対象者の問題解決に関わる様々な職種の方々と良好な関係を構築するコミュニケーションスキルと管理調整能力を身につけている（傾聴とコミュニケーション）

5. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラムポリシー）

ディプロマポリシーに示された要件を満たす作業療法士を育成するため、履修系統図に示すような段階的、階層的学びを可能とするカリキュラム編成とする。

- (1) 作業療法に必要な基礎知識、専門知識・技術、臨床能力を段階的、階層的に学び、また振り返りを可能とするカリキュラム編成とする（DP1、2）
教育課程および履修系統図に示すとおり、教養、専門基礎知識、専門知識及び技術、臨床実践能力が階層的に修得できるように配置する。

- (2) 段階的、階層的カリキュラムの実施において、次段階までに必要な知識・技術を十分に修得して次段階にステップアップする制度を導入する (DP1、2)
本カリキュラムは学年制であり、各段階の習得が認められたうえで次段階へ進むことが出来る。各段階で習得できなかった場合は、その段階の専門科目を再習得しなければならない仕組みとする。
- (3) それぞれの科目がなぜ作業療法に必要なのかを明確にして教授する (DP1、2)
科目や学習内容を、国際生活機能分類等を参考に、その位置づけと必要性を確認し教示する。
- (4) 作業療法実践現場で十分な能力が発揮できるように、実習や演習を講義科目と連携して実践し、知識と技術の統合を図る (DP2)
各学年に講義内容や学習段階に応じた学内演習および臨床実習を配置し、その前後にも学習機会を設けて、知識と技術の統合を促す。
- (5) 本学が目指す人材を育成するためには、国家試験に合格し、国家資格を有することが前提である。そのため、国家試験を意識したカリキュラム、講義を実践する (DP1)
国家試験出題基準等とおして、科目がどこに位置づけられているかが教授側、学生側の両者が確認できるようにシラバスに基準を記載する。
- (6) 他者の主張や思いを理解して適切に対応する能力及びその対応を実践する (DP3、5)
経験と指導をとおして習得できるように、科目内や学年を越えたグループ活動を配置することで学生同士のコミュニケーションの機会を設ける。また、対教員、学内作業療法実習による対象への対応、臨床実習における対象者、指導者、関係者とのコミュニケーションの機会を提供する。
- (7) 自ら学び探究する能力を養うための講義、演習を実施する (DP4)
卒業研究をとおして実践できるように指導する。

※DPとは、ディプロマポリシーを示す。

6. 入学者受入れの方針 (アドミッションポリシー)

ディプロマポリシーを満たし学位を取得するために必要な入学者受け入れ要件を示す。

- (1) 作業療法の職能に強い興味を持ち、自己の適性を正しく認識し、それを明確に表現できる人
- (2) 作業療法の対象者の健康増進の大切さを理解し、他者と協力してそれに貢献したいと強く願う人
- (3) 作業療法士として対象者の主張や気持ちを受け止め、共感、理解したうえで対応する能力を備えている人
- (4) 作業療法士に必要な知識や技術を学ぶための思考力や判断力など基本的学習能力と基本的な学習経験がある人
- (5) 時代のニーズに対応できる作業療法に必要な知識や技術の獲得に主体的であり、努力を惜しまない人